



中島 宏作 てんせいじ そうとうつぼ
天青瓷層塔壺



古武雄 ぞうかんつるもんみずさし
象嵌鶴文水指



中島 宏作 せいじろ たいゆうさいつぼ
青瓷露胎釉彩壺

温故知新

陶芸の里 武雄

むかし、むかし、武雄で生まれた「やきもの」。雄大な自然がもたらす粘土や陶石、澄んだ空気と清らかな水。融合する陶工たちの、時に力強くダイナミックな中に、ち密で繊細な曲線美、色使い、華やかさなど目を見張るものばかり。

毎日の食卓に並び、何気なく使っている器の一つが武雄の土から生まれたものだったとしたら、ちよつと誇らしい気持ちになりませんか？

今月は武雄の焼き物の「昔」と「今」について特集します。



宝寿窯



黒牟田焼 丸田宣政窯



康雲窯